

令和8年太宰府市議会第3回（9月）定例会 議事日程

《第3日》

令和8年9月8日（火）午前10時開議

日 程 第 1	再 開 宣 告 一 般 質 問 散 会 宣 告	（下記、一般質問者及び質問項目一覧表のとおり）
		記

一 般 質 問 者 及 び 質 問 項 目 一 覧 表

順位	質 問 者 【議 席 番 号】	質 問 項 目
1	木 村 彰 人 【10】	1 技術系職域の充実と組織体制の見直しについて 技術系職域（土木職・建築職等）の強化は、公共施設の更新、都市再編、災害対応など、今後の行政運営の根幹に関わる重要な課題である。本市の技術系職域の現状を踏まえ、今回は特に「土木職」に焦点を当て、今後の行政運営に必要となる技術力の確保と育成について、以下の3点を伺う。 （1）土木職の技術力向上及び技術継承に関する現状認識について （2）都市計画課に土木職の配置が少ないことによる行政リスクと技術職配置の検討について （3）近隣自治体（筑紫野市）との技術職交流による、技術力強化の可能性について 2 指定管理者制度における監督力の強化について 指定管理者制度の運用において、行政の監督機能が十分に発揮されていない事例が全国的に指摘されている。本市においても施設管理に課題が見られるため、以下の2点を伺う。 （1）太宰府市総合体育館（とびうめアリーナ）及び太宰府史跡水辺公園（市民プール）における、指定管理者の施設管理状況をどのように評価しているか。 （2）「建築・電気・機械」の技術系会計年度任用職員を任用することにより、指定管理者に対する行政の監督力を強化する取り組みについて
2	長 谷 川 公 成 【16】	1 太宰府南コミュニティセンターを活用した学習スペースの確保について 本市は学習スペースが限られており、特に校区内に学習スペースが設置されていない南小校区の生徒たちは近隣市の施設や、いきいき情報センターを利用するなど移動の負担が生じている。そこで南コミュニティセンター多目的ホールの空き時間帯を学習スペースとして開放することができないか伺う。 2 市民一斉避難訓練等の実施について 今年度の施政方針には地震災害対応訓練や市民一斉避難訓練等の記載がない。大規模地震等の災害が頻発する中、命を守る行動は絶対に必

2	長谷川 公成 【16】	要と考えるが、訓練を実施するのであれば各自治会の協力なしでは行えない。自治会行事も様々ある中で、実施する場合は早めに自治会へ周知する必要があると考える。今年度は市民一斉避難訓練等を実施されるのか市長の見解を伺う。
3	原 紳次郎 【3】	1 請願書への対応について 令和8年6月定例会において全会一致で採択された「西鉄都府楼前駅周辺の生活利便性向上と都市拠点形成に関する請願書」の市の対応について2点伺う。 (1) 請願に対する対応状況。 (2) 市の方針、方向性、検討委員会などの具体的な検討の予定。 2 多目的広場の管理運営状況について 市内の都市公園及び市有地の多目的広場の管理運営状況について3点伺う。 (1) 多目的広場の定義及び設置数。 (2) 多目的広場の利用時間、照明点灯時間、巡回、草刈り等の他管理に 関すること及び、遊具、ベンチ、柵等の点検修繕状況について (3) 迷惑行為への対応状況。 3 ため池マップと災害対策について 市内の農業用ため池で防災重点農業用ため池に選定されている、39 ため池及びその他の農業用ため池の災害対策について4点伺う。 (1) 各自治会への説明状況。 (2) 松川池ハザードマップの地域住民や観光客への周知。 (3) ため池防災対策工事の実施状況。 (4) ため池の点検及び補修について
4	神 武 綾 【14】	1 小規模・中小企業、個人事業主の支援について 太宰府市小規模・中小企業振興条例が制定され1年が経過した。当時、 生きた条例にするため様々指摘したことについて調査研究を行うとい う前向きな回答が複数あった。それらの進捗について2点伺う。 (1) 中小企業振興推進計画の策定、条例推進に関わる会議体の設置につ いて (2) 物価高騰、経営支援に関する事業推進について 2 子どもの意見表明権について 現在、子どもの権利条例制定に向けて、太宰府市子ども・子育て会議 の子どもの権利条例検討部会で検討が行われている。 条例制定にあたり、子どもの権利の一つである、「子どもの意見を聴く」 こと、すなわち子どもの意見表明権について4点伺う。 (1) 「子どもの意見を聴く」体制について (2) 「子どもの意見を聴く」ことによる事業への影響について (3) 子どもたちが意見を言える環境づくりについて (4) 子どもへのアプローチについて

5	瀬 筒 義 久 【4】	1 大規模地震発生時の防災体制について 本市の大規模地震発生時の防災体制について4点伺う。 (1) 最新の地震被害想定と発災時の初動対応について (2) 避難所の受入れ体制、備蓄品及び避難生活環境について (3) 観光客・帰宅困難者への対応と広域的な支援体制について (4) 防災無線を含む災害情報伝達体制の実効性について 2 市職員が安心して能力を発揮できる人事行政について 市職員が安心して勤務し、その能力を十分に生かせる人事行政について3点伺う。 (1) 職員の心身の健康、休職・復職の状況とその傾向について (2) 休職予防、復職支援及び職員の負担軽減に向けた取組について (3) 出張旅費の実態と社会情勢に応じた旅費制度の見直しについて 3 包括連携協定の実効性と成果検証及び今後の展開について 本市が様々な企業、学校、自治体等と結ぶ包括連携協定について3点伺う。 (1) 令和6年6月定例会以降の包括連携協定の締結状況及び連携事業の進展について (2) 既存の包括連携協定における取組実績、成果検証及び協定の管理体制について (3) 市民ニーズや地域課題の解決につながる包括連携協定の今後の活用について
6	馬 場 礼 子 【6】	1 若年層を取り巻く健康課題の現状と「プレコンセプションケア」について (1) 若年層のヘルスケアとプレコンセプションケアについて2点伺う。 ①若者の月経困難症や検診受診率向上等健康課題への認識について ②市公式ライン、出前講座を活用したプレコンセプションケアの周知、相談体制の必要性について (2) 検査費用の助成等について2点伺う。 ①プレコンセプション検診・AMH検査（卵巣予備能検査）等への市独自の費用助成について ②男性を含めたカップル受診の促進について (3) 無痛分娩費用の助成について2点伺う。 ①無痛分娩に対する市の認識について ②無痛分娩費用の市独自の助成制度の創設について (4) 地域特性や財源の活用及び次期計画への位置付けについて2点伺う。 ①市内に6つの大学・短期大学を有する本市の特性を活かした若い世代への情報発信と相談体制について ②国の交付金を活用する計画と次期太宰府市健康増進計画・食育推進計画、子ども子育て支援事業計画への位置付けについて
7	原 田 久 美 子 【13】	1 歴史の散歩道について 平成22年に認定を受けた太宰府市歴史的風致維持向上計画における歴史の散歩道環境整備事業は平成22年から令和4年度までの計画と

7	原田 久美子 【13】	されていた。その間も含め一般質問で幾度となく提言し、坂本八幡宮付近の道路は整備されたが、太宰府天満宮に至る歴史の散歩道は整備が進んでいないように見受けられる。 今後の歴史の散歩道環境整備事業は交付金の活用も含めどのように進めていこうと考えているのか市の見解を伺う。 2 国道3号バイパス歩道の植込みについて 歩道の植込みは景観の向上、歩道と車道を区切り、対向車のヘッドライトによるまぶしさを軽減するなど環境と安全を守る重要な役割を担っているが、国道3号バイパスの通古賀近隣公園横の歩道の植込み等は草木が伸びて見通しが悪い。 道路管理者に連絡していただき早急に剪定等対応すべきと考えるが市の見解を伺う。
8	タコスキッド 【7】	1 災害時の対応について 災害が発生した際に、災害発生後に避難生活などが原因で亡くなる災害関連死が非常に多いと言われている。災害関連死を防ぐには、安心して早期避難できる環境や、災害が起きた際に少しでもストレスなく快適に過ごせる避難所の環境づくりが必要と考える。そこで災害時の市の対応について5点伺う。 (1) 何も持たずに避難できる環境整備を行う考えはあるか。 (2) 警固断層が原因となる地震が発生した場合、市内が物理的、経済的に寸断される可能性があるが、予想される寸断による影響について (3) ペット避難所としての機能は現状で十分と考えているのか。 (4) 観光客の避難の課題について (5) 災害関連死を防ぐための具体的な対策について 2 松川体育館の雨漏り及び設備について 市内唯一のペット同伴避難所である松川体育館の雨漏り修繕工事が完了したが、現在も雨漏りが確認でき、先日の大雨の際は屋内の雨漏りがしていない箇所で避難が行われた。安心して避難ができる避難所作りのため、そして、市民が活用する体育施設としての機能確保のために4点伺う。 (1) 工事完了後も雨漏りが確認されているが、雨漏りが続いている理由について (2) 責任の所在と再工事の予定について (3) 施設内の洋式トイレの数について (4) 施設内の水道設備の現状と今後の対策について